

中国地域産学官コラボレーションセンター 主要活動報告

平成27年 7月16日

中国地域産学官コラボレーション会議
(中国地域産学官コラボレーションセンター)

平成26年度 活動報告

- (1) 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催
- (2) 中国地域国立5大学連携事業の推進
- (3) 中国・四国地域連携会議(大学人材育成)の推進
- (4) キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催
- (5) インテレクチャル・カフェの開催

地域イノベーション創出2014 in とつとりの概要

目的	中国地域におけるイノベーション創出の機運を一層高めるため、産学官連携活動の取組事例や連携の方向性を共有するシンポジウムを、各県持ち回りで毎年1回開催する。
開催日	平成26年7月2日(水)
場所	とりぎん文化会館（鳥取市）
参加者	225名(産:76名, 学:48名, 官:101名)
主な内容	<ol style="list-style-type: none">1. 基調講演: 産業技術総合研究所 理事長 中鉢良治氏 『知る・創る・役に立つ』2. 産学官連携・イノベーション創出の取組紹介 【先進的な取り組み事例】 公益財団法人 京都高度技術研究所 『コーディネータは“ミツバチ”～365日24時間の伴走支援で見たもの』 【中国地域の取り組み事例】 鳥取大学 『カニ殻由来の新素材「キナファイバー」を用いた実用化への取り組み』3. トークセッション 『地域における産学官連携とイノベーション』



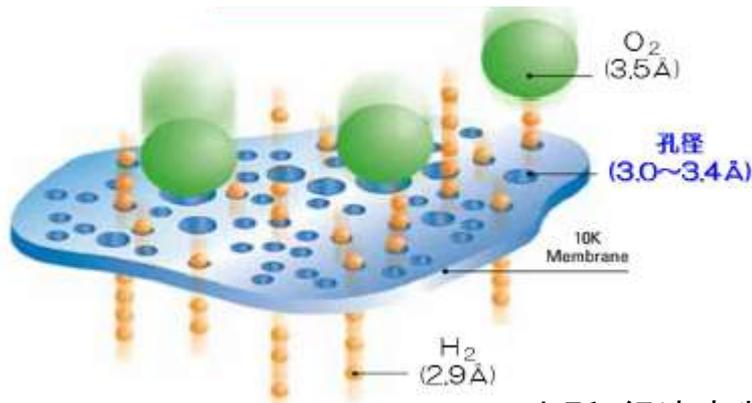
■ 取り組みの背景

- 中国地域の国立5大学連携事業の一環として、平成24年度に中国経済連合会・中国経済産業局主催で、企業向けに5大学の化学分野研究シーズ約40件の説明会を開催。
- 企業から関心の高かった膜分離利用技術を取り上げ、将来的な事業化を念頭に置き、大学・企業が参加する研究会を立ち上げた。

[膜分離技術について]

- 膜を通すことによって、液体や気体の中から特定の物質をふるい分けする技術。
- 原油からガソリン等の石油製品を取り出すプロセスの省エネ化や、水素、二酸化炭素の回収等への利用が期待されている。

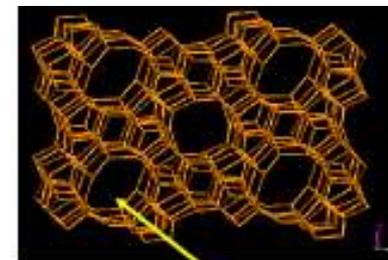
【膜分離のイメージ】—水素H₂分離の例—



出所: 経済産業省

【膜構造のイメージ】

—ゼオライト(シリカライト)の例—



細孔

出所: 広島大学

■ 研究会の体制

- 【主催】 中国経済連合会
化学工学会, 広島大学
- 【共催】 中国経済産業局
ちゅうごく産業創造センター



(広島大学 都留教授)



■ 活動状況

➤ H26.2～11月の間に計4回の研究会を開催

研究会	開催日	概要
第1回	H26.2.28	・膜分離技術の現状と展望(LITE), 大学研究事例(広島大, 山口大)
第2回	H26.5.23	・分離膜の細孔測定技術(産業技術総合研究所) ・気体分離技術(広島大, 山口大)
第3回	H26.9.5	・地球温暖化防止への膜分離技術の応用(工学院大) ・膜メーカー2社からの技術説明
第4回	H26.11.6	・化学技術政策の動向と方向性(経済産業省), 研究助成制度(NEDO) ・大学から企業への共同研究の提案(広島大, 山口大)

【研究会の成果】

- ・広島大学・山口大学と6企業との間で事業化に向けた共同研究を進めることで合意
- ・公的助成(ちゅうごく産業創造センターの事業:H27年度100万円)を獲得

■目的

- 大学, 産業界の緊密な連携のもとに, 就業能力育成の観点から大学教育を点検・改善し, 産業界等のニーズに応え得る人材養成を推進する。

■体制

- 中・四国の大学, 中・四国経連等の経済団体, 自治体など36団体(島根大が幹事)

■活動状況

文科省「産業界等のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の一環としてH24年度に開始

H25年度

- 産業界・大学・学生を対象に, 就業能力形成に関する意識調査を実施(H25.5~7)
- 大学教育への産業界からの提言等を中国・四国地域連携会議で報告(H26.2.19)

- 専門知識・技能や幅広い知識・教養, チャレンジ精神の養成
- 基本マナー・礼儀・態度や社会ルール等の社会規範の養成
- 実践的教育や体験学習等の充実 他



H26年度

- キャリア教育改善に向けて下記を実施し, 中国・四国地域連携会議で報告(H27.2.17)

- ・産業界提言を反映した学内授業や学生自らが課題を解決しプレゼンを行う能動学習
- ・産業界が求める人材像・要素を評価する指標等の開発
- ・学外学習(インターンシップ等)について実践的な教育プログラムの開発 他

(4) キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

⑥

第13回(H26年度) キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国

- 学生の起業家精神を醸成する目的で開催(14校・80件が応募)
- 審査会を実施のうえ各賞を決定し、H27.1.21に表彰式を開催
- 応募前に『ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー』を開催(H26.9/11実施。学生、大学関係者、社会人等約60名が参加)



受賞名	テーマ	学校名・代表者氏名
テクノロジー部門最優秀賞 (中国経済連合会会長賞) 3/6 全国大会: 日刊工業新聞社賞	聴覚障がい者を対象とした音声の 振動呈示装置 ～2つめの新たな聴覚をあなたに～	広島市立大学大学院 岩瀬大祐 広島市立大学 室瀬 一真
ビジネス部門最優秀賞 (中国経済連合会会長賞)	お土産カタログ	松江工業高等専門学校 田中直樹, 石倉裕貴, 加藤涼子
テクノロジー部門優秀賞 (エネルギー中国電力賞)	ムカデ退治装置	徳山工業高等専門学校 国安佑太
ビジネス部門優秀賞 (広島ガス賞)	Genuine Japanese Experience 3 Days	安田女子大学 森本加那子, 野澤綾花, 中山あさ ひ, 水戸部可奈, 村本紗和子
テクノロジー部門優秀賞 (ツネイシパートナーズ賞)	視覚障害者のための新しい音響シ ステム	岡山大学大学院 齊藤壘, 後藤剛, 濱野友希豊

上記の他, 特別賞: 2件, 奨励賞: 4件, 佳作: 4件

H26年度 インテレクチャル・カフェ広島

- 広島地域における大学の若手研究者と産業界・金融機関・行政等が交流し、新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークを形成することを目的とした、交流会「インテレクチャル・カフェ」を計2回開催
- 第1回は「再生可能エネルギー」をテーマとして開催。第2回は「環境・医療・介護・防災・情報関連技術」をテーマに広島大学の新技術説明会と同時開催

【第1回】 平成26年 8月7日 広島合同庁舎 中国経済産業局（参加：70名）

テーマ：再生可能エネルギー

- ・話題提供① 『福島再生可能エネルギー研究所 の紹介と
レーザー着火技術の紹介』

産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

- ・話題提供② 『水素社会の切り札：アンモニア』

広島大学 先進機能物質研究センター

【第2回】 平成26年11月21日 TKPガーデンシティ広島（参加：118名）

テーマ：環境・医療・介護・防災・情報関連技術

- ・話題提供 広島大, 県立広島大, 広島市立大他 広島県内5大学